



発行・東京片貝会
埼玉県新座市栄1-5-5
(〒352)阿部修次
(電) 0484-78-4494

語りあい、楽しい新年会 御案内

期日 平成8年1月28日(日)午後一時
会場 東京 新潟県人会館

過ぎた日々を語ったり、煙火の話をしたり、友達や親戚の話しながら、二十一世紀への夢を持ち、楽しい一日を過ごしましょう。
お友達とお誘いあわせの上、御出席下さい。

一、日時 平成8年1月28日(日)午後一時(正午より受付)
一、会場 東京新潟県人会館(台東区上野1丁目13-6)
営団地下鉄「湯島」二分(千代田線)
「上野広小路」六分(銀座線)

一、会費 JR「御徒町」七分
男性 六〇〇〇円 女性 五〇〇〇円
お願ひ 返信は1月20日までに届くようお願い致します。

会費値上げについてのお願い

前号でもお願い致しましたが、会費の値上げを六月の総会で承認して頂きました。平成八年度から、二千元とさせて頂きます。

会費は、昭和60年度から本年までの11年間、千円の会費でしたが、郵便料金の再度の値上げ、印刷費の高騰などにより会の運営に支障を来して参りました。

世の中の景気も沈滞気味ですが、宜しくお願ひ申し上げます。

新理事紹介(敬称略)

24卒石上俊夫 26卒安達 実
33卒安達 弘 33卒大塚功績

会の動き

第36回総会 6月25日
二面参照

片貝祭り浅原神社への
奉納に会長出席 9月9日



浅原神社秋季大祭の片貝祭りは、9月9・10日の両日奉納花火を主体に行なわれた。9日が13万人、10日が10万人合計23万人(当局発表)の過去最高の人出で賑わった。地元新聞などから、トピックスを紹介する。

熱狂 四尺玉 土、日曜重なり23万人の大賑わい

花火

世界一を自認する四尺玉は直径八百メートルの大輪の花咲かせ二発共成功。三尺玉は過去最高の7本。大型花火以外の庄巻は、還暦の伸竹会による尺玉百発入りの大スターマインで3分少々長い時間と約七百万の超豪華版であった。

駐車場対策

年々観光客が増えて、駐車場が足りず、幹線はもとより枝線までが大渋滞、パニック状態となっていた。今年初め

役員会

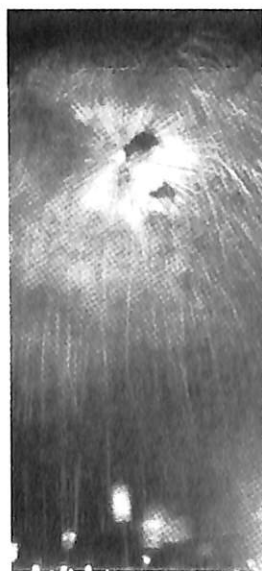
10月14日
一、会則第七条、第八条の改正について

一、東京片貝会「じよんのび会」(仮称)の発足
一、四十周年に向けて、新しい名簿の作成

上野にて 12名出席
母校を励ます会、講演会

三面参照 11月3日
大塚浩一氏(昭31年陽光会)による。

「楽しい旅行の裏話」



10日打揚の四尺玉

て駐車場対策が行われた。三つの駐車場を無料開放し、シャトルバスを運行した。駐車場は満杯となり、帰路は大渋滞が発生した。かたかい組活躍
片貝祭りは、地元にあまってお金が落ちないと言われてきた。町の活性化を図るために片貝商工連合会と片貝煙火協会が主体となり、かたかい組が主催となり、名産、物品を販売している。本年は五百数十万円の売上げがあり、町の人達から評価されている。

東京片貝会々則改正

現在

第七条 本会の会費は年額千円とする。

改正

第七条 本会の運営に関する経費は会費、寄付金、その他の収入をもって充てる。会費は年額二千円とする。

第八条 会計年度は毎年四月一日から翌年三月三十一日までとし会計監査の審査を終わった経理状況を総会に報告しなければならない。

第八条 本会及び母校を励ます会の会計年度は毎年四月一日から翌年三月三十一日までとし会計監査の審査を終わった経理状況を総会に報告しなければならない。

第36回総会

いつまでも輝いて語り合おう

平成7年6月25日 東京シティエヌターミナル

外国へ行くような気持ちでTCATに集い、新役員による初めての総会が、片貝町から、六名の御来賓の御出席を頂き、総勢六十四名の出席で開催された。

総会

総会は大塚順一さんの司会黒崎正副会長の挨拶で開会された。阿部新会長は「東京片貝会の更なる発展のために、役員世代交代を図り、時代に合った活動を考えている。世の中は、騒然としているが片貝の伝統と精神に基づき、大地に根を張った会としたい。」また、コシヒカリのお土産のお礼と会費の値上げに



ついでにお願いを話された。会計報告が新野次朗さんよりなされた後、会費の値上げの要請があり、新会費(二千円)の承認を頂いた。

その後、監査報告が吉原三代治さんよりあった。続いて新役員の紹介がなされた。(役員氏名は会報第50号参照) 励ます会を代表して、新会長藤塚悟さんが「先輩に続いて頑張りたい」と挨拶され、小、中学校へそれぞれ10万円分の図書券の贈呈がなされた

井口勇小学校長、酒井勝吉中学校長先生より「子供の興味のある図書、高価な図書など有効に用いさせて頂く」との感謝の言葉を頂いた。総会は無事、終了した。

懇親会

司会が黒崎勝さんと交替し来賓の紹介がなされ、代表され吉井陽協会長の挨拶を頂いた。「中学校は体育館ができて教育環境が整ったが、裏山は赤土のままの所もあり、もつと美しい町にしたい。お祭りの駐車場

対策も考えている。皆さんと一緒に、本日に良い町にした。」

この後、片貝からの祝電が披露され、前会長勝又功さんの乾杯で懇親会が始まった。喉を潤したところで、御来賓のお言葉を頂いた。

吉原正幸市会議員

市議選で片貝町から四人立候補し、全員再選。

腕白相撲、長岡工業高校バスケケット、片中バレー全国的に活躍。

浅田正平PTA会長

片貝人の東京での頑張りを感じた。

片中バスケケット部横断幕寄贈に感謝。

堀井一位JA理事

農協過渡期 外米輸入、減反整理 米の自由販売

お土産のコシヒカリを食べ、宣伝をして頂きたい。

米は日本一の片貝農協へ。

片貝のお話を聞いた後、会員相互、郷里の皆様との交流で、和気あいあいと話しながら咲き、得意の歌もつぎつぎと飛び出し大変盛り上った

最後に全員で木遣を合唱し閉会となった。出席者全員に片貝の「魚沼コシヒカリ」のプレゼントがあり、皆さん笑顔で帰路についた。

当日の出席者(64名)

御来賓 6名 前掲 会員

(大正)

佐藤 量八

(昭和2、10)

早川松太郎 日下部政子 山口ヨシ 芝五郎 相崎善次郎 浅田鉄二 山口三郎 芋川とし 藤田睦子 勝又功 黒崎孝造 田口タズ 大内登世 朝妻ヨシ 馬場キイ 佐藤彦一 小宮良夫

(昭和11、20)

太カ川善蔵 丹治きみ 青木富代 佐藤道雄 小宮幸雄 浅田栄三 上田益美 庄司とう 星シズ 西山和子 中島ヨシ 江澤キヨ

(昭和21、30)

安達和三 吉原三代治 神林勝夫 黒崎晴郎 清水好男 浅田松男 山岸慶昭 新野次朗 阿部修次 黒崎正 大塚順一 相崎達一本 田幾雄 佐藤孝二 小野塚茂 本田文夫 宮沢道子 中村恵美子 石上俊夫 安達実 黒崎勝 久賀友作 吉原武夫

(昭和31、35)

藤塚悟 小宮善興 芝瀧男 諸我時夫 吉井信三

お礼

当日出席の御来賓各位、及び左記の会員の皆様よりお祝いを頂きました。

佐藤正雄 丹治きみ 小野塚正司 安達徳太郎 杉本静 勝又 功 黒崎孝造 大矢常吉 太カ川三郎 佐藤修司 穂刈フサ 西山和子 高野 賢 永井一 安達 実 足立洋子 山崎英輔 吉田久美子 小野塚和男

会員短信(敬称略)

友田勇四郎(昭2) 戦友会があり、欠席します

山口武一郎(昭9) 家内介護に付失礼させて頂きます。皆さんに宜しく。

和田豊次(昭12) 町内の寿会の旅行とかちあいましたので。

黒崎音吉(昭13) 銃剣道の会合と重なりました。お誘い感謝申し上げます

松下利夫(昭18) ゆくて会総会と重なりました。当番幹事で湯沢での企画です。皆様よろしく。

山口光雄(昭19) 孫の宮参りです。

金井ヨシ(昭20) 老人クラブの旅行で蓼科温泉へ出掛けます。会報を楽しみにしています。

黒崎孝造(昭6前会計) 奥様共々水彩画を楽しんで

おられ、プロ級の腕前とのこと。早く元気になって体調が悪く、出席できないとの便りも頂きました。

佐藤正雄(大8) 水内 治(大12) 安達宗吾(大13) 山口富次(大15) 吉原菊枝(昭9) 浅田 猛(昭18) 沼田 愛(昭21) 岸田とし子(昭21)

会員皆様へ

会員皆様の近況、趣味の事、連絡、尋ね人などの便りをお待ちしております。

ユリ(平成7.1.14) 盛治(平成7.3.6) 盛治(平成7.4.7)

吉田 小林(昭和9) 阿部 小(昭和12) 昭和小(昭和12)

目黒区平町1-4-8 川崎市宮前区有馬4-5-1-1115 (044-856-4710) 江戸川区東篠崎1-6-8-16 (03-5666-6482) 足立区西新井4-37-12 我孫子市台田3-17-5 (0471-84-4323) 練馬区北町2-2-20-102

昭和2 本 田 正 秀 152

昭和18 松 下 利 夫 216

昭和23 小 杉 和 子 133

昭和24 渡 辺 千 子 123

昭和27 吉 原 勉 270

昭和38 小 野 塚 和 男 179

昭和15 高 橋 清 雄 (平成7.3.28) 昭和9

昭和5 黒 崎 米 郎 (平成7.) 昭和12

昭和6 吉 原 彦 作 (平成7.9.18) 昭和12

昭和18 藤 塚 益 郎 (横浜市) 昭和20 平 瀬 子 (横浜市)

大塚浩一氏(昭31卒) 近畿日本ツーリスト(株)・部長
 楽しい旅行の裏話
 旅は出会いの数。夢を持って世界へ――

第14回母校を励ます会講演会
 平成7年11月2日 片貝中にて

本年新設された体育館には中学生(二〇三名) 小学六年生(六十二名)が参加、生憎の北風と風雨激しい中、多数の町の人達も出席された。名塚同窓会長の挨拶の後、阿部会長から講師の紹介、鈴木教頭先生から来賓の紹介があった。来賓には講師の中学校時代の恩師、水島敏先生もお見えであった。

自己紹介

立派な校舎、体育館となり感無量です。また、生徒さんの元気で礼儀正しい挨拶に感心致しました。

私は、1959年片貝中学校を卒業、小さい頃から好奇心が強く、世界の国々を回ってみたいと言う欲望は強く、学生の頃、東京オリンピック



楽しい世界旅行の裏話
 大塚浩一先生

●コンコルドの早さは世界一
 マッハ1で音と同じ
 早さ、騒音が凄く、売れない。2万メートル

選手村でアルバイトをして、更に夢は膨らみ、1967年近畿日本ツーリストに入社しました。旅行会社の添乗員とか、スチュワーデスとか華やかに見え、人気も高いですが実際には地味で厳しいことが多いです。

旅

旅行は五感(見る、聞く、嗅ぐ、味あう、触る)によって、人それぞれ感じ方が異なりますが、私が感じたことで「乗物」「食べる」「体験」について、お話をします。

「乗物」

●日本の乗物の時刻は世界一
 ソ連は油が不足で電車が来ない。中国は機内食が無く、機から降りて、空港近くのレストランで。南米は列車が古くトラブルが多い。

の成層圏で飛び、空の色が青から紫に近く見える。スチュワーデスは4〜5ヶ国語を話し、純白のドレスを着て、褒上手である。

●南米ボリビア、ラパス空港の高さは世界一(4100m)高山病にかかる。体調を整える注意事項は必ず守る。

●ペルーの山岳列車は世界一高い所を走る。
 インディオの帽子、御婦人は右が既婚者、左が独身です

「食べ物」

珍しい食べ物は、中国に多く、そのお話をします。

●ぎょうざは二千六百年前から食べられていた。博物館に化石があるが、ガイドに要望しないと通過される。

●漢族の名物料理はラクダ

ラクダの足を輪切りにして食べる。ゼラチン質と赤味が交互にあり何の肉か分からない

●ゲテモノ料理も、いろいろ

食べたが、二つだけ食べられない物があつた。一つは広州でのヘビがトクロを巻いた、丸蒸し料理。原形のままて手が出なかつた。もう一つは、沙田での鳩の丸焼きの悩ミン

をすす料理、参りました。

「体験できるもの」

●エジプトのパピルス
 四千五百年前の紙。専門のお土産店で実際に作ることができ、絵付けもできる。
 ●エジプトは、考古学の宝庫
 ●インカ帝国は伝説に満ちた

母校を励ます会報告

小、中学校からお礼の便り

図書のお礼

母校を励ます会より贈られた図書に対して、小学校々長の井口先生と七名の図書委員から、お礼の便りと写真が送られてきました。「洋々文庫」にはマンガの本もあり、大変な人気となっているとのことでした。

講演会のお礼

今回の大塚浩一氏の講演会



興味深い国。

私の好きな言葉は「人生は友の数」「旅は出会いの数」です。皆さんも沢山の出会いを大切に、多くの友達を持って、豊かな人生を送って頂きたい。好奇心を持ち続けチャレンジして欲しい。(拍手)

お礼の便り

のお礼の便りを、中学校々長の酒井先生から頂きました。「先日は、大塚様の講演会を企画頂き本当に有り難うございました。素晴らしいお話しでした。東京片貝会様にはいつも大変お世話になり感謝致しております。片貝においての時は気軽に学校において下さい。」

片貝中学校々長

酒井勝吉

片貝の町は、活性化を図るために、いろいろな事が行われ、試みられています。

「励ます会」の活動も児童、生徒さんの大きな励みとして、心の繋がりと、感謝され継続を願われています。

末長い御支援をお願い致します。

今回御支援いただいた方を左記の通り報告致します。

- 大正 (敬称略)
- 佐藤正雄
- 昭2〜10
- 山口三郎 勝又功 小宮良夫
- 昭11〜20
- 佐藤修司 内海光子 小嶋京子 浅田栄三
- 昭21〜30
- 吉原三代治 阿部修次 黒崎正 佐藤孝二 吉原 登 中村恵美子 藤塚文頭 吉原武夫 黒崎 勝 野崎真知子
- 昭31〜43
- 藤塚 悟 芝 満男 吉井信三 諸我時夫 黒崎修二 小野塚和夫 内海富美子

第六回片貝中同窓祭開かれる

第六回片貝中学校同窓祭が

10月14日農協で開催された。実行委員会は持ち回りで、今回は永遠会、みつわ会が担当し、各学年から総勢百二十名の参加があつた。同窓祭は、年一回の開催であるが、母校の発展、各クラスの繁栄のために、更に片貝町にとっても大きな財産と評価されている。今回の記念講演は、冬季オリンピック複合スキー出場久保田三知男氏(市社会体育課係長)による「我がスキー人生」が行われた。

ふるさと・は・今

平成7年6月から11月まで

母校近況 小学校

6月4日、回収作業に片小児童6名が参加し、貴重な経験をした。

市内水泳大会

8月1日

女子メドレーリレーで優勝
チビッコ相撲、末は横綱か

阿部勇樹君(片小5年町裏)は、県下では敵なしの強さを誇り、二年連続で国技館での全国大会に駒を進めた。また「第12回全国少年相撲大会」では、念願のベスト8入りを果たした。

文部大臣賞受賞

学校保険活動の実績が認められ、11月16日徳島市アステイ徳島に於いて、文部大臣賞を受賞した。

中学校

市内陸上競技大会

6月8日

四百メートル3年で丸山幸弘君、走幅飛で吉原里恵さんが優勝した。

市内球技大会

6月13日

バスケットとバレーで優勝卓球、庭球は団体で共に3位と活躍した。

中越大会

7月12、13日

バレーボール完全優勝

北信越総合体育大会

7月26、27日

バレーボールは準々決勝で敗退、惜しくも悲願の全国大会出場はならなかった。

中越水泳大会

7月13、14日

自由形で、安達祐介君・小野塚千晴さんが入賞し、県大会に出場。健闘したが入賞はいたらなかった。

私の主張 北魚沼地区大会

一年生の大矢亜季さんが、「あいさつと笑顔のある町」のテーマで発表、奨励賞を受賞した。

インターハイ バスケット

長岡工業高校レギュラー

三選手が片貝中出身

太ヶ川久君(3年)、堀井聡君(2年)、浅田司君(2年)の3選手は県代表としてインターハイに出場した。

太ヶ川君はキャプテンも務めており、技術だけでなく人望やリーダーシップも評価されている。片貝地区のレベルの高さが伺える。

片貝新聞発刊

七月一日、片貝新聞第一号が発刊された。本新聞は発行所が片貝新聞社、責任者は吉原芳郎氏であり、月一回の発行である。情報を共通化し、現実を直視することにより、より住み良い生活の向上と人材の育成を理想としている。

水沢を緑豊かに

かつて「山の湯」があった水沢(みつそう)地区をミズバショウ、ショウブ、ブナなどで緑豊かな場所にしようと活動されているのがグリーンパーク水沢の皆さん。

12時間野球ソフト大会

片貝野球連盟は、創立30周年記念事業として、7月23日「12時間耐久野球ソフトボール大会」を開催した。総勢二百五十名が入れ変わり立ち寄り参加して、盛り上った。

老人ク ゲートボール大会

8・21

第12回老人クラブ・子供会交流ゲートボール大会が開催された。町内毎の老人クラブと子供会の混成17チームが出場、子供達と老人の技術が上手に噛み合い、世代間交流を図った。優勝は寺町Bチームだった。

池津ジャンボかぼちゃ大会

池津町内会は、地域の親睦と活性化を目的として、「池津ジャンボかぼちゃコンテスト」を開いており、今年で六年目を迎えた。約二百個が百メートルにわたり並べられ、一番重い物は、122.5kgもあった。



「片貝村青年会物語」著す

五ノ町安達常造さん(73)は、「太平洋戦争飢餓の中の大きな建設の日々・片貝村青年会物語」の前半を著わした。戦争突入の経緯、戦中そして、戦後の荒廃、廃墟の中から立ち直るための町民の様子と青年男女が丸となり、めざましい活躍をした記録である。当時の関係者や地元の人達に大きな感動を与えている。数年後正式に一冊にまとめて、出版する計画で、希望者はその時にとのことです。

佐藤邸市当局購入へ更に前進

二ノ町の佐藤佐平治邸地

「一市が購入して公園に」との町民の声があったが、小出市長が正式に都市公園として購入したい旨を明らかにした購入のため県に申請などの手続が進められる。

地域活性化を目指す「かたかい組」も利用計画について

企画、立案の役割を担っていく決意と言われる。

盛況 綱引き大会

J A片貝町綱引き大会
今年で10回目(最終回)の綱引き大会が8月20日、男女19チームで行われ、男子町裏、女子二ノ町・茶畑が優勝した

市民綱引き大会

第九回市民綱引き大会は三部門19チームが参加して開催され、三部門とも片貝のチームが優勝をさらった。

県青年大会綱引き優勝

第43回県綱引き大会で「片貝綱引きクラブ」が圧倒的強さで優勝。11月11日の全国大会では20チームが参加し、見事3位となり、大いに片貝の名を上げた。

県大会を目指して

J A片貝大会で優勝した女子の二ノ町・茶畑チームは「四尺玉クイーンズ」と改名し11月26日の県大会へ向け、猛練習に励んでいる。

敬老会開催

10・1

片貝町のNo.1

男性 松井周一さん97才
女性 野中セツさん99才
片貝町協議会主催の敬老会が小学校で開催された。対象者は、70才以上843名で喜寿の43名が市長より表彰を受けた

町民運動会盛大

第49回町民大運動会が小学校グラウンドで開催され、8チームが参加した。総合優勝は二ノ町チーム。来年は記念すべき50回となることから、今から一層の盛り上げを期待されている。

伝統芸能保存会長に山口氏
これまで六年間の安達清二氏に替って、前協議会長の山口益宏氏が就任された。早速「みこじさ」の復活が、始まった。尚、安達さんには東京片貝会もシャガリのテープ等でお世話になった。心から謝意を表します。

あとがき

本号から、佐藤量八氏より引継ぎ、初めて編集させて頂きました。不慣れな若輩ですので、今後皆様の絶大なる御指導御鞭撻をお願い致します(小宮善興、31年卒)